

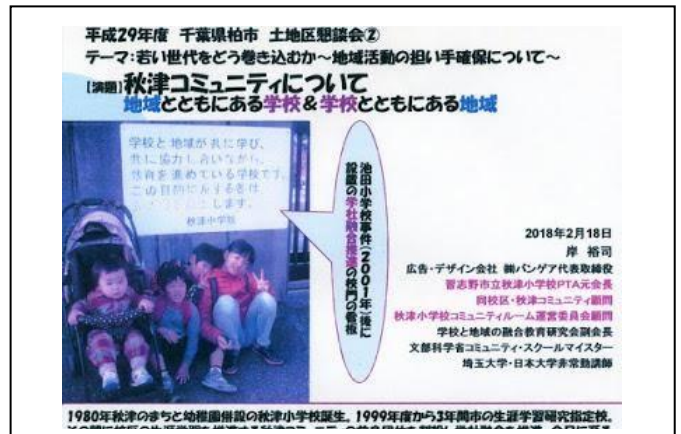
平成29年度第2回地区懇談会

平成30年2月18日（日曜日） 「若い世代をどう巻き込むか ～地域活動の担い手確保について～」をテーマに、自治会長・PTA関係者及び地区社協部員等27名が参加し、講演会及び懇談会を開催した。

伊藤会長の挨拶に続き、地区社協部大江部長から「地域活動を維持発展させる為には適時、適任者への世代交代が必要であり、その為には日頃から若い世代を巻き込んだ世代間交流を進めたい。先般、柏市社協を通して地域コミュニティが盛んな習志野市秋津コミュニティを見学し、有効な情報を得たので顧問の岸裕司氏に講演をお願いした」と主旨説明があり、講演に移った。



講演会講師 岸裕司さま（右奥）



【(私に)特にお話しいただきたい内容】

- ①世代交代のタイミング
- ②人選びの基準
- ③若い世代の参加意識を高める秘訣
- ④世代交代が上手く出来た事例
- ⑤40-50代と60-70代の世代別の関心を得る行事の例
- ⑥継続的に世代交代ができるシステムの事例

秋津コミュニティの理念

- ①できる人が、できるときに、無理なく、楽しく！
- ②楽しく、ゆっくり「わたし流」に！
- ③自主・自律・自己管理

秋津小学校コミュニティルーム(公共施設)の住民自治による自主運営の備前
 学校を住民が預かることで、自治意識と「おらの学校」意識が向上

- ④自助、共助、最後に公助のまち育て

実践から培った私の運動論・組織論・認識論

- ①何をするにも最初が肝心 10年・50年後をイメージして
- ②リーダーは最初から次の人を意識し、長くて10年
- ③仲間に誘うには仕事や興味のあることと関連させる
- ④名刺や肩書ではなく「汗」が信頼の元
- ⑤何をするにもやりたいがりの3人集いすべてを準備
 ⇒開始時に3人が各1人を誘う=1人の背後にもう一人
- ⑥つぶし屋の想定意見をすべてつぶしておく
- ⑦関わる相手にメリットある「融合の発想」=Win&Winで
- ⑧情報公開と説明責任はセット
- ⑨人は強制では動かない、楽しいことが原動力・継続力
- ⑩待っても来なければ、出向く
- ⑪参加者が少なければ主催者の責任 +-10%の原則

講演は、①世代交代のタイミング等当方からの6項目の質問への回答も含めた、<習志野市秋津小学校と PTA&秋津コミュニティの「学社融合」の活動>で、当地域でも小学校を拠点に行っている「多世代交流コミュニティ事業」はもちろんのこと「増尾ふる協」の運営にあたっての有益な情報が得られた。

続いて参加者を3班に編成し、今回は PTA 関係者に参加頂いたので各班毎に 「現在の地域全体活動に対しての問題点や感じていること」を披露頂き、本題について懇談した。

今回は時間の関係で十分な懇談が出来ず結論が出せなかったが、本テーマについては30年度の課題として継続する。